

## ■顔、声、心でつながる

10月も最終日となりました。

天気の良い日の休み時間には、ひまわり広場で、いろいろな子どもたちが教育実習の奥先生とおにごっこをして走り回っているほほえましい光景を見ることができます。

23日（水）の掃除なしのロング昼休みは、ひまわり（縦割り班）遊びが行われました。

体育館でドッチボールをするグループ、教室でフルーツバスケットやハンカチ落としを楽しむグループ、いずれも最高学年の6年生がリーダーとなって企画し、下級生が楽しめるような心遣いを随所に見せていました。さすが、6年生です。

25日（金）には、1・2年生が府市場営農組合の方々にお世話になって、サツマイモ掘りにチャレンジしました。この夏は暑すぎてツルの生育も今一つだったようですが、掘進めていくと、大きなサツマイモがたくさんありました。組合の年輩の皆さんもニコリの豊作でした。

また、道中、ふるさとに学ぶ会の講師の先生に出会い、「あっ、国府しゃあしゃあ音頭の先生だ。」という声が聞こえてきました。もちろん、その講師の先生も笑顔いっぱいです。

翌26日（土）には、府中小のグラウンドでこども園の運動会が、日高東中では文化祭が行われました。偶然、私と出会った小学生のみんなは、「おはようございます。」と元気なあいさつをしてくれ、私はとてもいい気持ちになりました。

そして、こども園の弟、妹にあたたかい声援を送ったり、日高東中のお兄さん、お姉さんの合唱を憧れのまなざしで見つめたりしていました。

闇バイト強盗傷害事件等、「顔・声・心」のない「つながり」が社会問題となっていますが、既述の出来事は顔・声・心のある素敵なつながりです。

このつながりの輪を、今後も、保護者の皆さん、地域の皆さんと一緒に、大きく太く強くしていきたいものです。どうぞよろしくお願いします。

（校長 山本 考一）



校長ブログ：府中っ子の学校での様子をお伝えします。（パスワード：